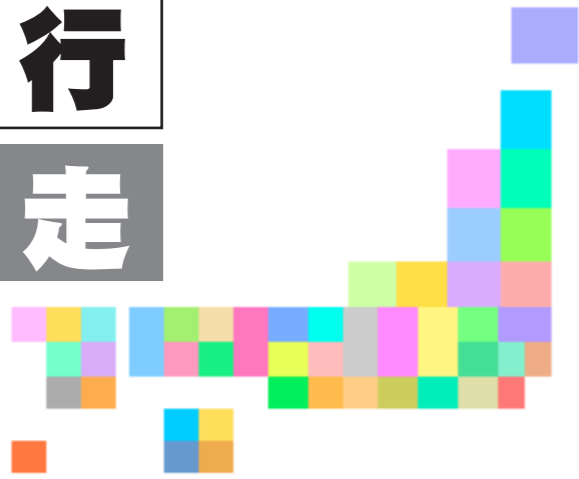


東 行 西 走



第12回 東京 支会

再スタート!! 東京支部の活性化

このコーナーは都道府県ごとに各支会、支部の皆様にご協力を得て、いきいきと活動する地域の声を紹介します!(^^)!

月例研修会 始まる!

5月 月例研修会：助成金と人材育成



東京支部 新三軸
テーマ (グローバル、人材、IT) から、
5月は『キャリア
助成金を活用した
人材育成』をテーマに、株式会社
JIN-G 様及び、株式

会社アイグロス様のご協力を得て、研修会を開催しました(5月25日東京都港区の株式会社 JIN-G 研修室にて)。

中小・中堅企業にとって、重要なテーマには、事業改善、事業承継、IT、グローバルなど様々なテーマが挙げられます。今回は、その中から 人材教育に関して、取り組みやすく効果的な施策について、提案の仕方等も交えて解説いただくとともにディスカッションに参加させていただくことができました。まだ駆け出しのコンサルタントですが、こうした支部の勉強会を積極的に活用して、幅広い知識の吸収と自己研鑽を図っていききたいと思います。

(M&A スペシャリスト 早川尚志氏)

6月 月例研修会：IT 利活用

東京支部 新三軸テーマ (グローバル、人材、IT) から、6月は『中堅、中小企業に役立つ ICT 利活用』をテーマに、IT コーディネータ協会 西川仁氏を講師にセミナーを実施しました(6月21日港区表参道)。

ビジネスモデルとはなにか、企業経営の中で、IT はどうとらえられているのか、今後の IoT、クラウドの観点で IT はどんな役割を果たすのか等 いろいろな角度からの説明、問いかけがありました。

この勉強会に先立ち、IT コーディネータ協会 播磨会長と面談し(諏訪部名誉理事長ご同席)、今後、中堅中小企業での IT 課題検討につき共同でご検討いた

だけることを確認いたしました。

具体的な案件等ありましたら是非弊職までご一報ください。

(東京支部 副支部長 萩原泰之)

yuki.Hagihara@nifty.com



東京支部長
戸川 宏一

を持ちその役割を果し、日本の社会に貢献していく使命があると考えます。

東京支部としては、この憲章の理念を具現化し実践することを目標に、現在日本の中堅、中小企業が直面していると思われる新たな重要な課題に焦点を当ててまいります。即ち、海外進出に関連するグローバル化の問題、海外要員を含む人材確保・育成、後継者問題及び、IT 技術の有効活用に関する問題の三つにも焦点を当てた活動に取り組んでまいります。従って、東京支部テーマは、従来の経営コンサルティング、事業再生・M&A サポートという軸に加え、グローバル、人材及び、IT を新たな軸として進めたく存じます。

東京支部の皆様の声を出来る限り活かし、情報の共有化を図りながら、現三軸と新三軸に関連する講演、ワークショップそして、可能な限り情報交換の場を提供できるように致したと思います。また会員の皆様との情報共有を行いながら、可能な限り会員同士のビジネス上の協力体制が構築できるよう努力してまいります。更に、関東圏内における他の支部と連携した具体的な企画・活動も可能な限り実現してまいります。

当協会は、これまで60年以上の長きに亘って、経営コンサルタントの専門家集団として、また経営コンサルタントの資格付与団体として日本の社会に貢献してきております。

協会の憲章には、「1) 我々は経営コンサルティングの社会的使命を自覚し、高い品性の保持と高度の専門知識の精通に努め、公正な社会の発展に貢献する。2) われわれは、信用を第一とし、常に最良を求め、機能的にして一体化した専門家集団を目指す。3) 我々は、自由闊達にして創造力に富んだプロフェッショナルとして、グローバルに活躍し、ゆとりある豊かな人間を目指す。」とあります。

どんなに時が経っても、社会に様々な変化があっても、私たちは協会の一員としてこの憲章のもと経営コンサルタントとしての自覚

日本経営管理協会 東京支部 2016年春季 講演会



松平恒和講師

さる3月26日(土曜日)東京都新宿区のスクワール麹町にて、東京支部 2016年春季講演会、懇親会を開催しました。昨年11月に戸川理事が東京支部長に就任され、支部活動の活性化第一弾として 特定非営利活動法人 国際人材創生支援センター 理事長 松平恒和様から、「企業活動と人材のグローバル化」という演題でご講演をいただきました。

松平様のメッセージ趣旨は以下でした。

1. 過去20年間に、日本企業の海外活動が急速に活発化している。特に、製造拠点のみならず、海外を市場としてとらえた活動が増加している。この傾向は、従来の大企業のみならず 中堅・中小企業にもこの傾向が顕著となってきている。
2. 企業の動きに必要なことは、「海外で闘える人材の育成」である。 グローバル人材として必要なことは、ダイバーシティ(多様化:世界中の人の考え、感じ方は異なる。日本とは違うということだけではなく、それぞれが異なる)をいかに理解しているかという点。この前提がないと、グローバルに活動することは不可能である。
3. ダイバーシティを身に着けるためには、海外を経験することにつきる。国際人材創生センターはその理念から設立した。グローバル人材の育成活動を今後も継続する。



研修会の会場風景



早川様ご質問!!

講演後、「日本に留学している外国人の日本での就職が限られていること」「日本の起業活動がまだまだ他国に比べて少ない。どう育成すればいいのか」等、グローバルに関する幅広い質問も出され活発な会となりました。

日本経営管理協会を代表し、山田副理事長から、「今後の東京支部の活動活性化、会員の増加への期待」が述べられ、戸川支部長より、「今後、①グローバル、②人材、③ITを3軸として、情報発信、支部活動を充実していく」旨、方針表明がされました。

アンケート調査の結果からも、M&A、事業再生に加え、これらのテーマで活動を求めるという声が寄せられました。

講演会に続き懇親会を開催し、会員・参加者の親睦を図りました。今後、入会を希望される参加者もあり、おおいな盛り上がりとなりました。 諏訪部名誉理事長、井上理事のご挨拶と共に、株式会社セントラル総合研究所の八木社長様から、一般社団法人みらい経営支援機構のご紹介もいただきました。

東京支部としましては、会員の皆様の役に立つ勉強会、ワークショップを実施してまいります。今後とも東京支部活動をご支援をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

東京支部 副支部長(企画担当) 萩原泰之

